

地域のコアとなる小さな集合体「まち」 —川口アパート建替の考察—



人間の忘却に耐えることができるものはただ2つ。「詩」と「建築」である。
建築の七灯 John Ruskin

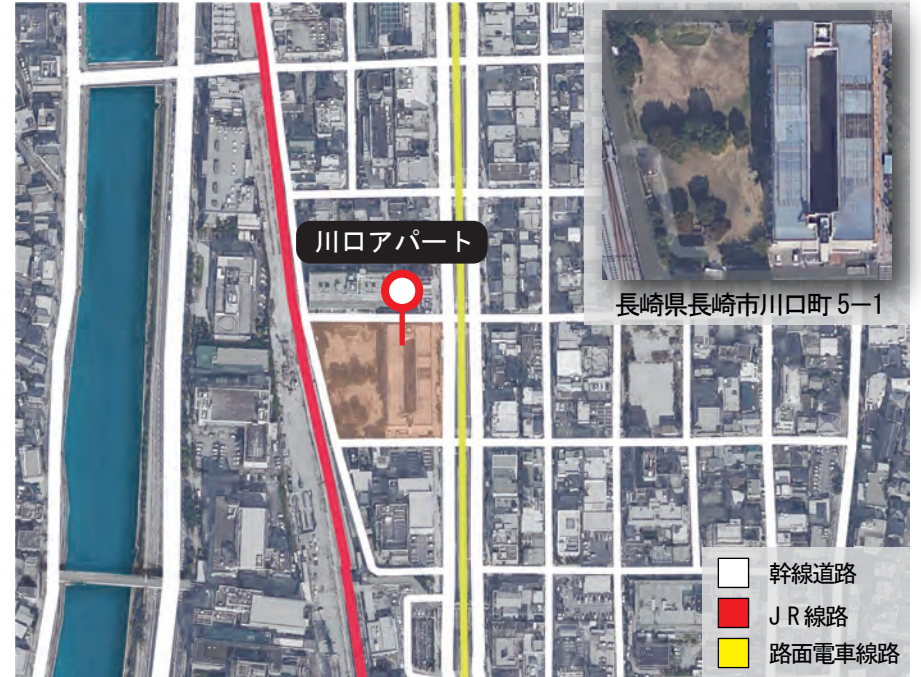
1 ABSTRACT

PFIによる建替が行われている川口アパート、川口公園。
築50年、1F 浦上百貨センターと2～7F 公営住宅で構成された建物。居住者を対象にヒアリング調査、アンケート調査を行った。浦上百貨センターは高齢者のコミュニティの場になっている。共用通路は、ルールある使い方で人々の生活があふれだす路地空間。川口アパートには、昔の日本のまちの一部があらわれている。

川口アパートの建替に際し、居住者により現在までつながれてきた歴史をつなぐ、地域のコアとなる小さな集合体「まち」を提案する。

2 SITE

当敷地は、長崎市の中心部に位置。



3 RESEARCH

居住者を対象にアンケート調査、ヒアリング調査を行った。



■ 建物概要

・川口アパート

敷地面積 : 2102 m²
築年数 : 1971 年 築50年
構造・規模 : RC造 地上7階建て
用途 : 3～7階 県営住宅 (2DK ベランダなし)
2階 公営住宅 (3DK ベランダなし)
1階 商業施設 (浦上百貨センター)

・川口公園

敷地面積 : 2498 m²



川口アパート



川口アパート共用通路

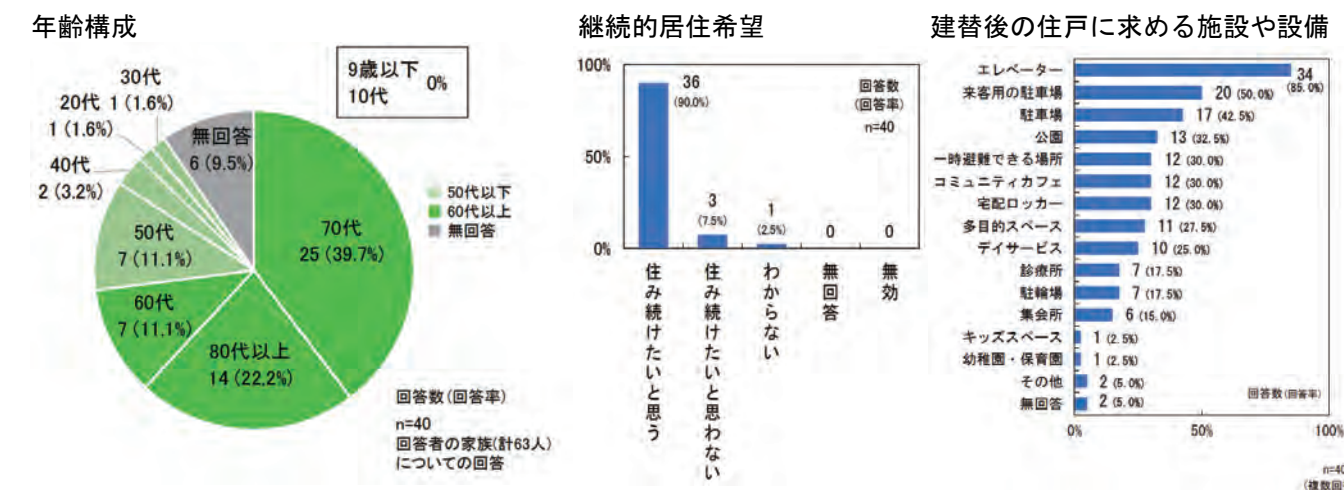


浦上百貨センター店内



コミュニティの場

■ 居住者のニーズを把握するため、アンケート調査を行った。(回収率 40.4%) 長く居住している独居高齢者が多く、今後も住み続けたいと思っている。



■ 居住者の意見を聞くためにヒアリング調査を行った。 川口町に対する愛着と深いコミュニティがある

居住者は、居住者同士の長い時間をかけてできた深いつながりを持っている。2階の公営住宅居住者は建替後の住居に入居できない予定になっている。居住者の住み続けたいと思いと長く居住してきたからこそこのまちに対する思いを感じた。このまちへの強い愛着と深いコミュニティがあった。



男性 公営住宅居住者 (居住年数 13 年)

- ・ 終の棲家だと思っていたのに、追い出されてしまうのか。
- ・ 長く住んでいたことに意味がないのか。

女性 浦上百貨センターで衣装品販売店経営 (居住年数 50 年)

- ・ 高齢者のお客様が多く、寂しくて、みんなここに集まっている。

女性 公営住宅居住者 (居住年数 50 年)

- ・ 川口アパート建設の際に土地の交換条件として、川口アパートの店舗と住居の権利を買った。

■ 歴史

1940	1945	1945 8/9	1948	1951 11	1962	1971	2021	2023
当時は川口町ではなく岩川町		原子爆弾投下		築町バラック地区から岩川公園に集団移転される		浦上中央市場再開発 (川口アパート建設)		新川口アパート設計・施工



■ 調査まとめ

昔の日本のまちの一部があらわれている。



浦上百貨センター店内



バラックイメージ
出典: Network2010 (<http://network2010.org/artile/1044>)

バラックは「不法占拠」や「スラム」と位置付けられながらも、自分であるいは協力する形でバラックを建てている。人々の住まう場、思い思いの場である要素もあり、自分たちの場所・空間である。

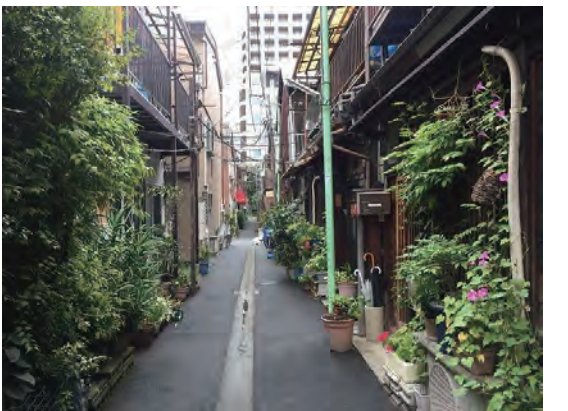
バラックと同じ要素がある。



コミュニティの場



川口アパート共用通路



月島 路地
出典: 綴る旅 (<http://tsuzuritabi.com>)

路地空間と同じ要素をもっている空間。

浦上百貨センター、川口アパート共用通路は、ルールにしたがっているが、均一性がなく、多様な場所。それらは自分たちで生み出したものであり、自分たちのもの・場所・関係・ルールがある場所。そして、現在の居住者、その親世代が、つないできた関係、場所が残っている。

4 CONCEPT

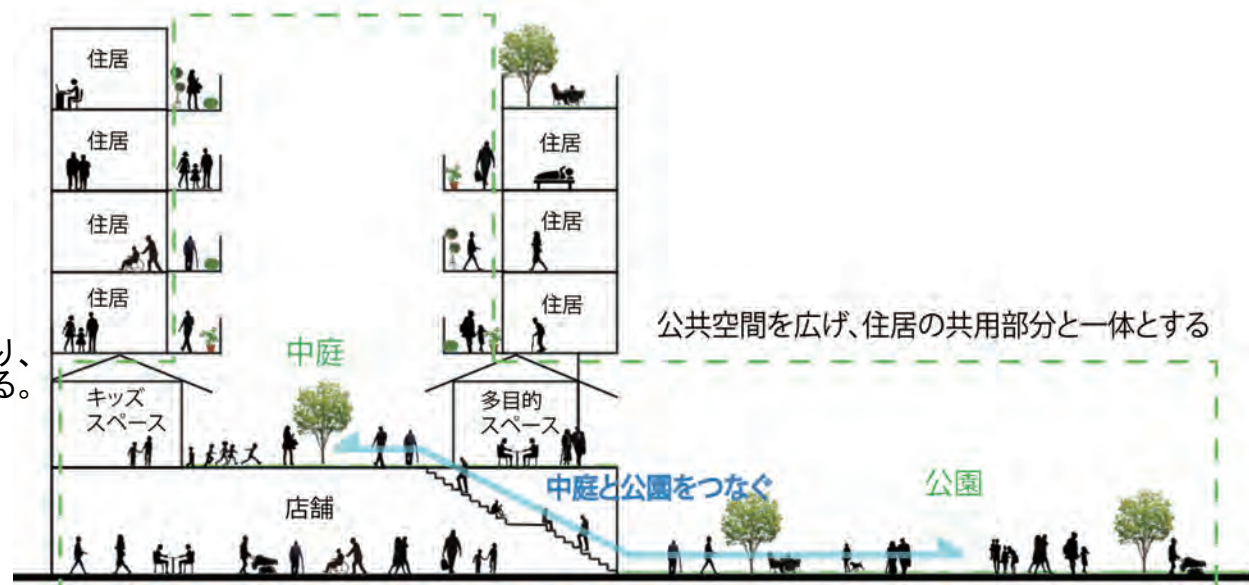
建築は歴史の伝承になるものとして造らなければならない。 建築の七灯 John Ruskin

ーバロックを継承している店舗空間の再現ー

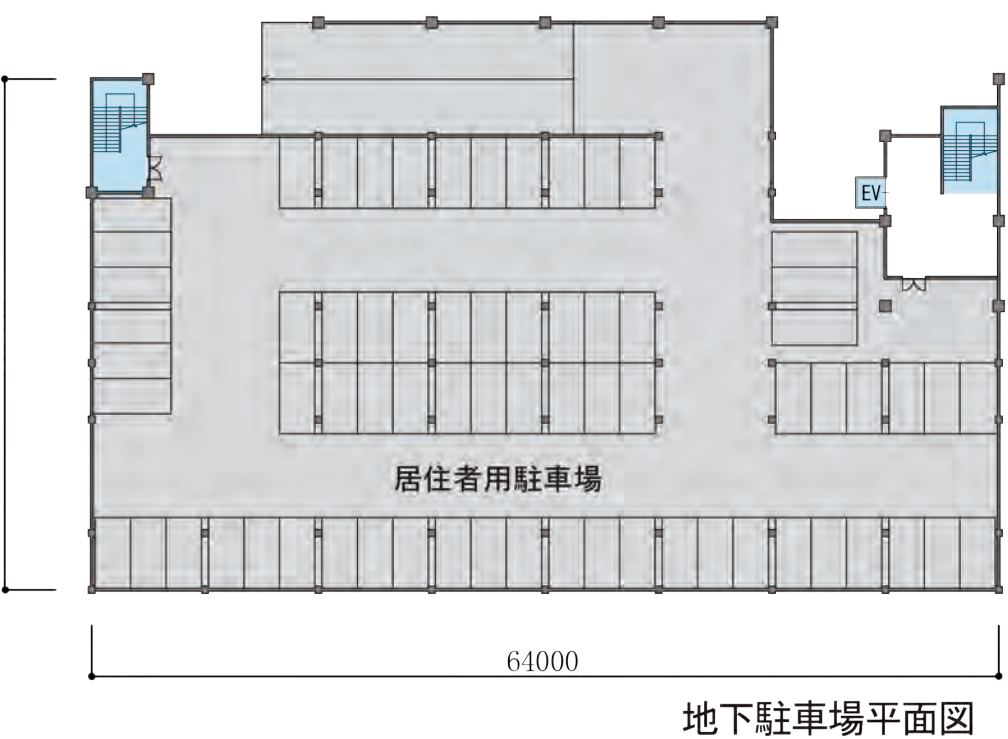
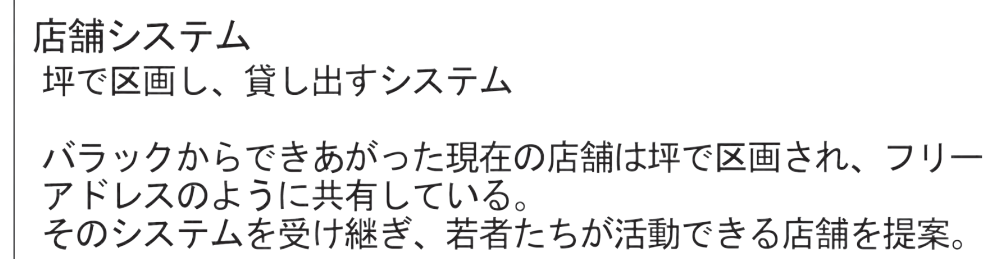
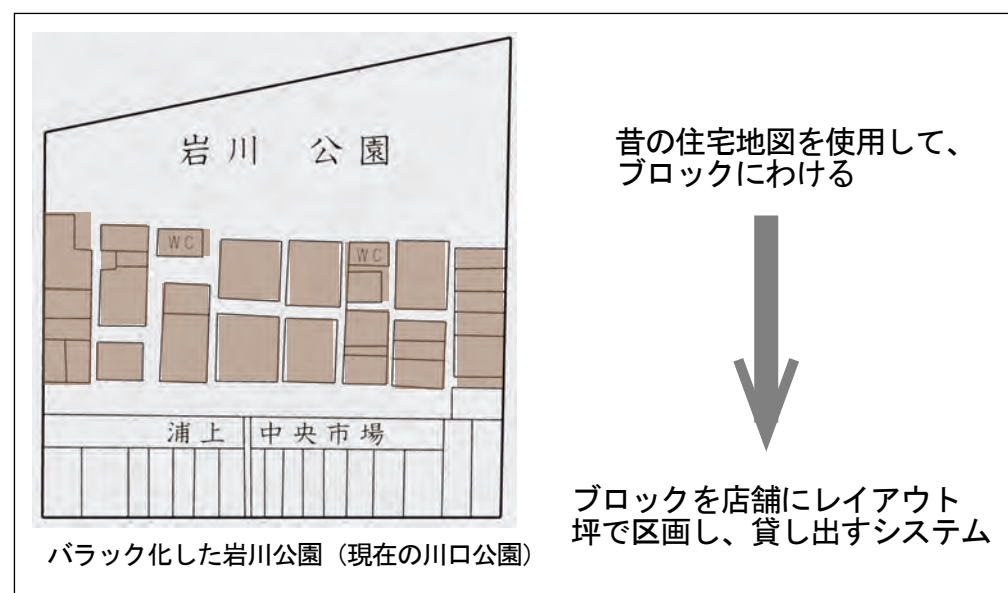
ー昔の日本のまちの要素、
川口アパートにある要素を取り入れるー

ー地域のコアとなる集合体「まち」ー

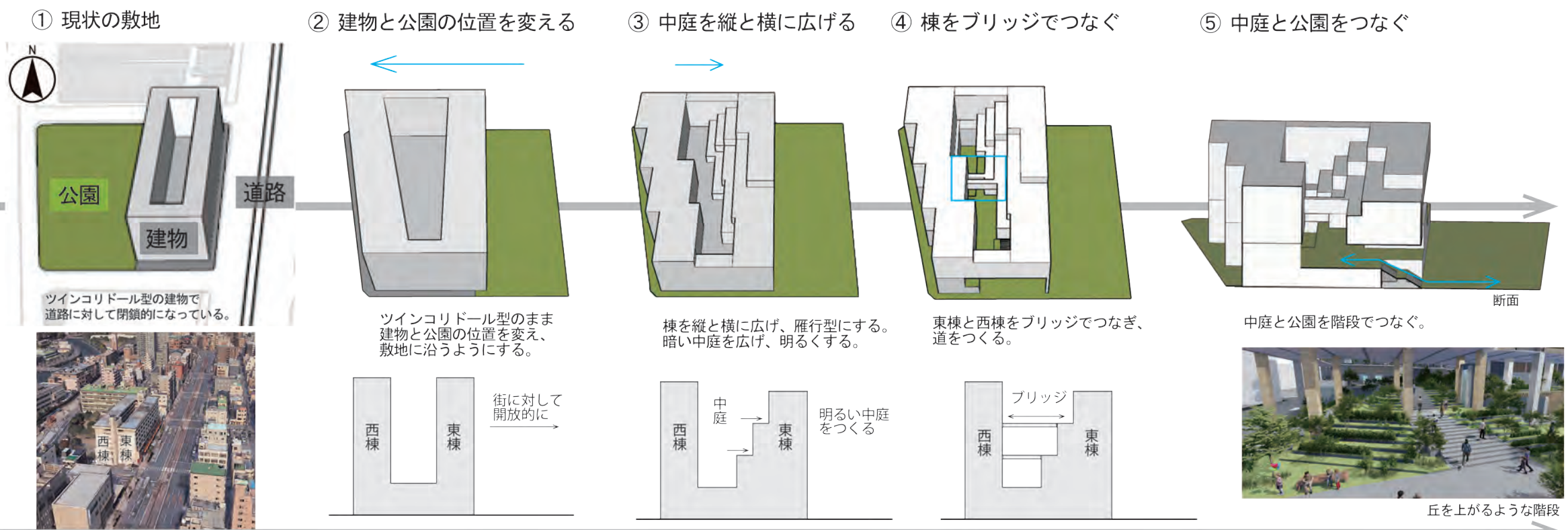
公共空間を集合住宅の共用部分まで広げた空間をつくり、
地域のコアとなる多機能で小さな集合体「まち」とする。



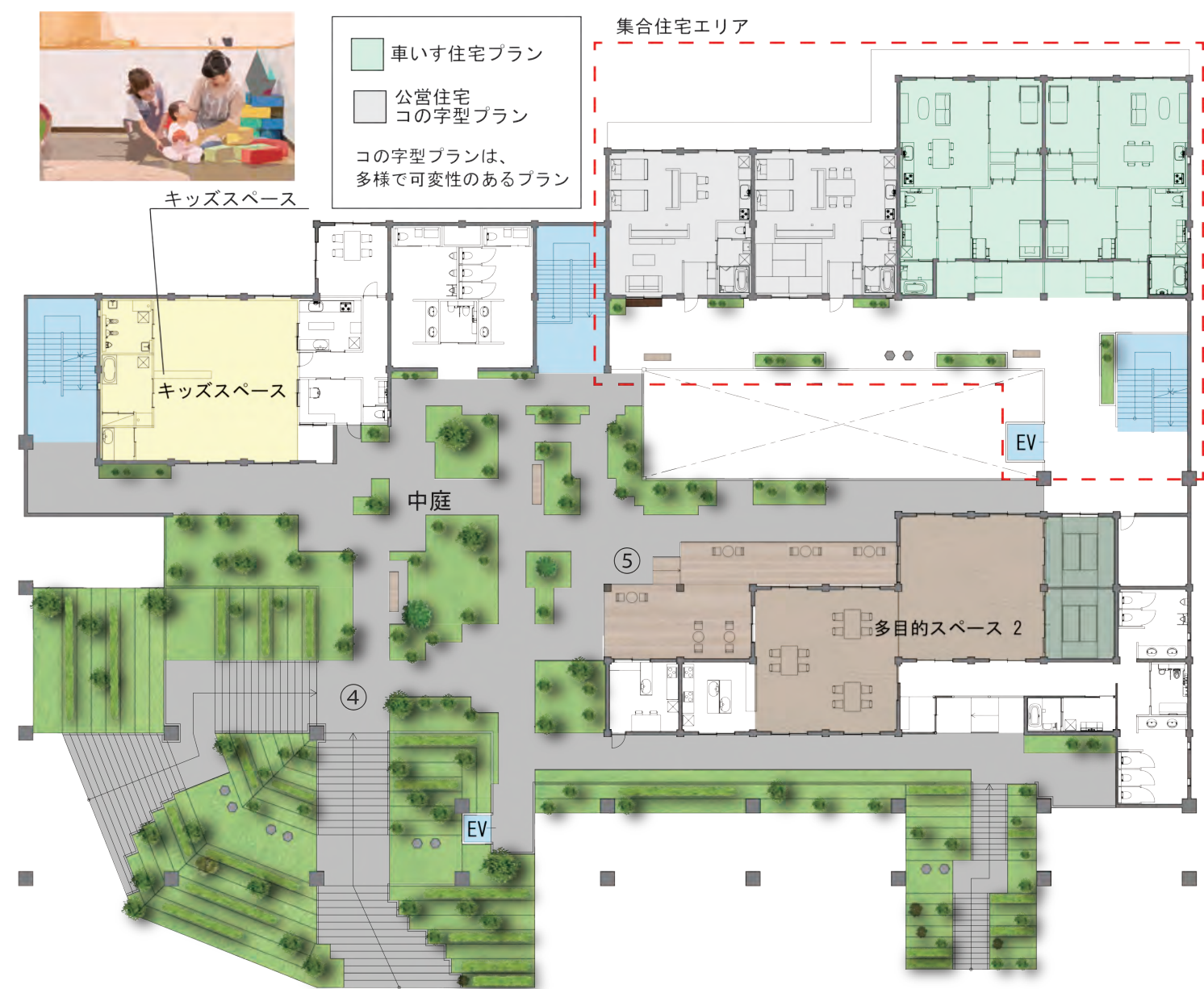
6 PLAN



5 DIAGRAM



1階平面図 機能配置図



2階平面図



中庭と集合住宅
集合住宅の共用部分が無性格にならないように中庭の公共空間を中心に集合住宅の共用部分を計画した。



中庭と多目的スペース
中庭に面した多目的スペース2は、集会所、コミュニティカフェ、非常時には避難所として使用できる多機能な計画とした。



住戸プランをまぜる
多様な人が住むことでコミュニティのきっかけをつくる

- 公営住宅
コの字型プラン
- 民間賃貸住宅
ファミリープラン
- 民間賃貸住宅
子育てプラン（リビングアクセス）

公営住宅と民間賃貸住宅を混在させた理由

公社住宅居住者は建替後、住み続けられない予定になっている。川口アパート建設前からこの土地に住んでいた人が現在も住んでいる。アンケート調査で土地に愛着を持ち継続的に住み続けたいこと、ヒアリング調査で深いコミュニティがあることがわかっている。私はこの土地に長く住んでいる人にも住む権利があると思う。そして、バックグラウンドが違う人も一緒に住める社会が良い社会だと考え、あえて混在させる計画とした。



3 階平面図



廊下を生活空間化する
緑台をおくことによって廊下を生活空間化する

住戸を雁行型に配置し、たまり場をつくる
居住者同士のコミュニティの活性化をはかる

リビングからアクセスできる住戸をつくる
生活時間の長いリビングと廊下をつなぎ視覚的な関係性が高め、交流を促す



4 階平面図



① たまり場



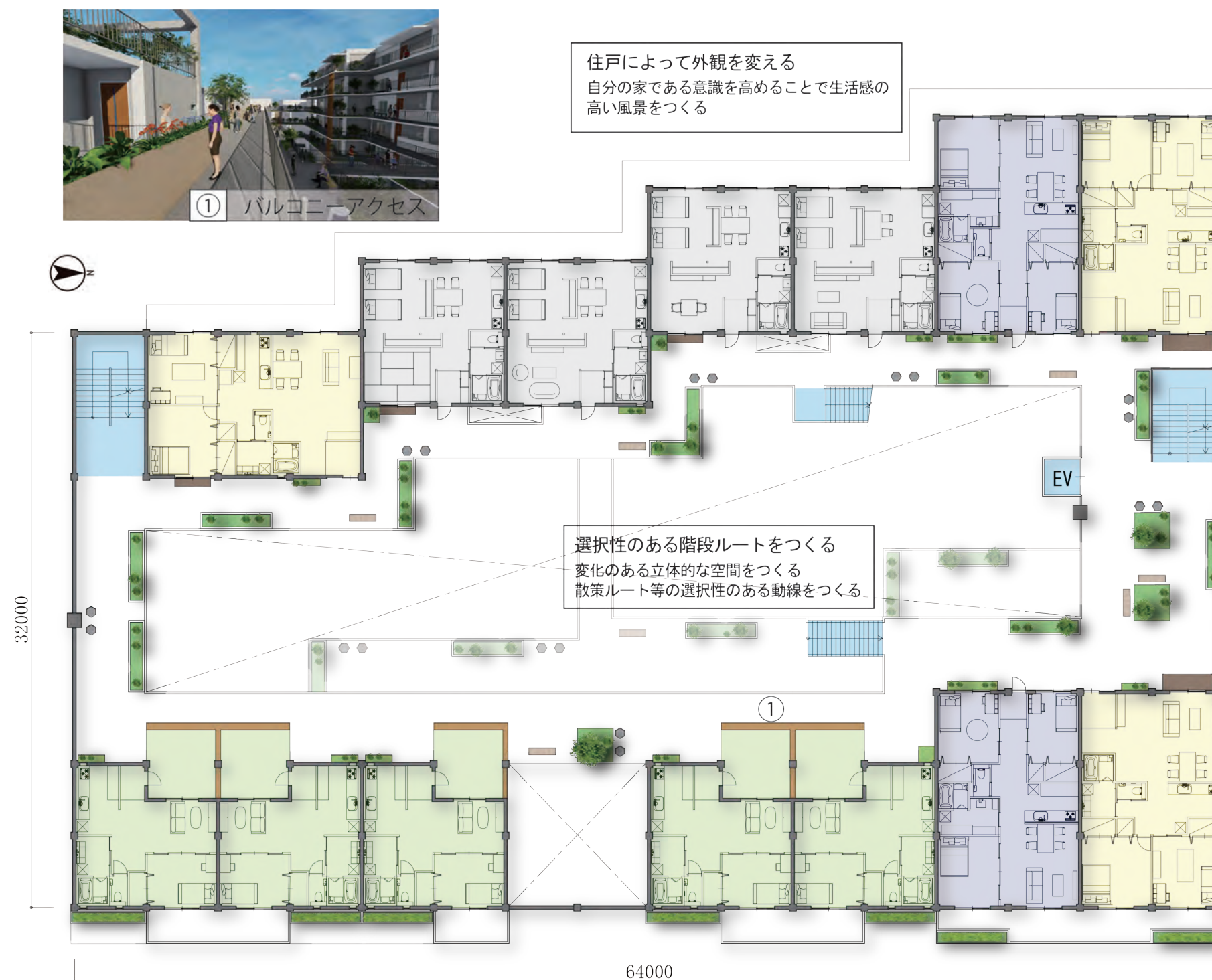
③ ブリッジ



6階平面図



7階平面図



5階平面図



